事業所名	ポテトフィールド	**支援プログラム（児童発達支援）**	作成日	令和8年7月1日

法人（事業所）理念	私たちは、地域のみなさんが住みなれた場所で、その人らしい自立的生活ができるよう支援していきます。 お互いに尊重し合う関係を保ちながら、支え合い（お互いさま）の精神をもってコミュニケーションを深め、地域のためにお役に立ちたい、信頼関係を築いていきたいと思っています。 「相互支援」「自立的生活・自己実現の支援」「福祉理念の追求・自己研鑽」「チームワーク（共有･連携）」「地域の他機関との連携」
支援方針	「できた！」の積み重ねで、自信と社会性を引き出していけるよう支援していきます。 ・お子さまが安全に安心して、楽しく活動できる居場所になるよう努めていきます。 ・家庭的な雰囲気の中でお子さまに寄り添い支援していきます。 ・保護者の方ともお子さまの成長を共に喜び、保護者･ご家族のお悩みや不安について相談できる事業所になれるよう努めていきます。

営業時間							送迎実施の有無	
	月～金曜日	9 時	30 分から	18 時	30 分まで		あり	なし
	長期休み期間の月～金曜日	9 時	0 分から	18 時	0 分まで			

		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	【健康状態の把握と対応】【生活習慣や生活リズムの形成】に関する支援プログラム。 ・体温測定や水分補給を促しながら体調確認を行い、安全に安心して活動に取り組めるよう支援します。 ・保護者等（ご家族、通園施設の先生等）と連携を図りながら、お子さまの心身の状態を把握して適切に支援します。 【基本的生活スキルの獲得（生活に必要な基本的技能の獲得、技能の向上、マナーの理解）】に関する支援プログラム。 ・［手洗い･手拭き（蛇口、手拭きタオルの操作）、うがい］［衣服の着脱、身だしなみ･整え方］［排泄･トイレトレーニング、ペーパーカット、汚れた時の対応］ ［食事動作･マナー（道具の操作、手や口元の汚れを確認する）］［お支度･お片付け］［設備の使い方の理解・マナー］ 【構造化等による生活環境の調整】に関する支援プログラム。 ・構造化による活動場所のレイアウト、掲示･表示（視覚的に「何がどこにあるか」「何をする場所か」等をイラストや文字を使い表示）し支援します。
	運動・感覚	【姿勢と運動･動作の基本的技能の向上［姿勢･移動、動き作り、運動（粗大運動･微細運動）］】【保有する感覚の活用】に関する支援プログラム。 ［粗大運動］ ：座る、歩く、止まる、立つ（両足立ち･片足立ち）、跳ぶ（両足とび･ジャンプ、片足とび･ケンケン、スキップ）、またぐ、くぐる、よける（かわす）、 道具を使う･操作する（ボールを持つ、運ぶ、転がす、投げる、蹴る、受ける･キャッチする） ［微細運動（手先操作）］ ：つまむ、はさむ、握る、あつめる・すくう、はめる・外す、なぞる・書く(描く)、塗る、貼る、ボタン･ファスナー操作、ひも結び･ちょう結び、 道具を使う（はさみ練習、定規･文房具） ［工作活動］：切る･貼る･折る ［音楽に合わせて体を動かすあそびや運動］：運動あそび（リズム）、いろいろな大きさのボールを使ったあそび等 ［自由あそび］：工作、お絵かき、パズル ・個別活動や自由あそびにて取り組み支援します。 【感覚特性への対応】に関する支援プログラム。 ・感覚の特性（感覚過敏や鈍麻）や行動の特性（こだわりや偏食）に配慮し、支援します。

		支　援　内　容
本人支援	認知・行動	【認知や行動の手がかりとなる概念の形成】【感覚の活用や認知機能の発達】に関する支援プログラム。 [物の機能や属性、形・色・音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念、時計（時刻）の理解] [視覚、聴覚、触覚等の感覚の活用、適切な情報の取得、認知機能の発達] ・集団活動の中で支援者と一緒に日付･季節（カレンダー）、スケジュール（タイムテーブル･見通し）、周りの様子を確認していきます。 ・個別活動にて、認知･言語促進プログラム、発達促進ドリル「物の名前」「用途･抽象語･物の属性」「異動分別（おなじ･ちがう）」「自他の分離」「空間把握（上下･左右･前後･そば･なか･そと）」「比較（大小･長短･多少･高低）」「順位数」等に取り組み支援します。 【認知の特性についての理解と対応】に関する支援プログラム。 ・お子さまの発達の段階に合った声かけや促しにて支援しています。 ・感覚の特性（感覚過敏や鈍麻）や行動の特性（こだわりや偏食）に配慮し、支援します。
	言語 コミュニケーション	【コミュニケーションの基礎的能力の向上】【言語の受容と表出】【言語の形成と活用】【人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得】 【コミュニケーション手段（非言語･言語･文字･コミュニケーション機器等）】【状況に応じたコミュニケーション】に関する支援プログラム。 [非言語（指さし、身振り、サイン）、言語「語彙数の増加（名詞･動詞･形容詞、２語文･３語文、あいさつことば、様子を表すことば、気持ちを表すことば、呼びかけ･応答、要求の表出･伝達、基本的なやりとり）」の理解と表出] ・個別活動にて、認知･言語促進プログラム、発達促進ドリル等に取り組み支援します。 「物の名前」「用途･抽象語･物の属性」「様子の表現」、 「気持ちを表すことば（うれしい･たのしい･おもしろい･かなしい･こまった･イライラくやしい）」、 「感覚を表すことば（あつい･さむい･おいしい･かたい･やわらかい）」、 「体の調子を表すことば」（げんき･〇〇いたい）、 「呼びかけ方（アプローチ）･応答（お返事）の仕方」、「要求･希望（～したい。～やって。）」、 「基本的なやりとり（どうぞ–ありがとう）」等に取り組み支援します。 【読み書き能力の向上】についての支援プログラム。 ・個別活動（学習）にて、認知･言語促進プログラム［視覚操作、言語（理解･表出）、記銘（視覚･聴覚）、文字（読字･書字）、数、運動（微細･粗大）］、 発達促進ドリル「文字（ひらがな･カタカナ）･文章を読む･書く」「数字を読む･書く」等に取り組み支援します。

		支　援　内　容
本人支援	人間関係 社会性	【アタッチメント（愛着）の形成と安定】に関する支援プログラム。 ・お子さんの気持ちに寄り添いながら、安全に安心して活動・過ごすことができるよう支援します。 【遊びを通じた社会性の促進】に関する支援プログラム。 ・お子さまひとりひとりの発達の段階や意向を尊重しながら、援助あそび・ひとりあそび・並行あそび・連合あそび・ルールある協力あそび等を組み合わせて、 徐々に社会性の発達につながるよう支援します。 【仲間づくりと集団への参加】に関する支援プログラム。 [集団に参加するための手順やルールを理解し、お子さまの希望に応じて、遊びや ※集団活動（集団あそび）に参加できるように支援] [他のお子さまと一緒に活動する経験通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援] ・※集団活動（集団あそび）にて、発達の段階に応じて、小グループやペアになって取り組めるよう支援します。 活動の手順やルール、お手本を支援者や子ども自身が提示し、主体的に活動に参加でき、楽しみを共有できるよう支援します。 順番･交代･並ぶ･待つなど集団活動で想定されるお約束（ルール）を段階的に経験できるよう支援します。 支援者やお友達と楽しみを共有しながら、「勝ち負け」「順位」のある集団活動（集団あそび）にも取り組み支援します。 ・自由あそびにて、ルールのあるあそび（トランプ･ＵＮＯ･かるた、オセロ等）にも取り組めるよう、楽しみを共有できるよう支援します。 ※集団活動（集団あそび）年間計画 ：運動あそび（リズム･道具）、さかなつりあそび、しゃぼんだまあそび、ボールあそび（サッカー･おたまリレー）、 伝承あそび（鬼ごっこ･だるまさんがころんだ）、工作あそび、おやつ作りなど。

家族支援	モニタリング（面談）を計画的に設定しています。 事業所での活動の様子やご家庭での様子を保護者･ご家族の方と情報を共有しながら、保護者･ご家族の方の心配･困りごと等へ相談･助言できるよう支援します。 保護者･ご家族の方へ事業所での支援場面を通じた学びの機会の提供を支援します。 必要に応じて関係機関と連携を図り支援します。	移行支援	就学や移行先と連携･情報共有（お子さまの状態･支援方法）し支援･サポートします。 保護者･ご家族へ情報提供し支援します。
地域支援・地域連携	各関係機関（相談支援事業所、通所支援事業所、小学校･通園施設等）と連携･情報共有し支援します。 障害者支援協議会（児童部会）へ参加。	職員の質の向上	社内研修（勉強会）、訓練を実施しています。 オンライン研修受講の体制を整備しています。 社外・外部研修を受講し、職員の質の向上に努めています。
主な行事等	季節に応じた活動（夏まつりあそび、クリスマス、卒業式など）		